

こんなところにも?! コウノトリにまつわる 関東の歴史・地名等々



関東地域では、コウノトリ・トキをシンボルに河川を軸とした生態系ネットワーク形成と魅力的な地域づくりを進める広域連携モデル「関東エコロジカル・ネットワーク」の取り組みを進めています。「なぜ、コウノトリ・トキをシンボルに?」と思いませんか?

それは、コウノトリ・トキが、かつては関東地域の水辺や我々の暮らしの身近に普通に生息していたからです。その証拠に、関東各地に遺跡や記録、地名、言い伝え、絵図など、様々な形で痕跡が残されています。

2 茂林寺沼 (群馬県館林市)
江戸時代前期頃の茂林寺周辺を描いた絵図(茂林寺蔵)にはコウノトリに似た白い鳥が描かれている。(出典:茂林寺沼湿原保護保全のための計画) H24.3館林市)



3 鴻巣市 (埼玉県鴻巣市)
コウノトリが市名の由来ともいわれる鴻巣市には、このとり伝説が言い伝えられている「鴻神社」があるとともに、毎年には伝説にちなんだ「おとりまつり」が開催されている。

4 地名 (埼玉県鶴ヶ島市)
雷電池の近くにあった2本の松の木(相生の松)にコウノトリが巣を作り繁殖していたことが「鶴ヶ島」の由来とされる。

5 多摩川の足跡化石 (東京都昭島市付近)
約150万年前の地層から、コウノトリの足跡化石が発見されている。(出典:「多摩川河床に見られる下部更新統上総層群の長鼻類・偶蹄類足跡化石群の分布調査」2008年 福嶋徹・GeoWonder 企画むさしの化石塾代表)

21 浅草寺 (東京都台東区)
トロイの発掘で有名なドイツ人、H・シュリーマンが1865年に日本を訪れた際の紀行文に次の記述がある。「寺(浅草寺観音寺)の屋根の上にはこのとりの大きな巣があり、2羽の親鳥とたくさんのヒナが見えた。巣は寺の飾りになっている。」(出典:「シュリーマン旅行記 清国・日本」石井和子訳/講談社学術文庫)

20 “生類憐みの令”とコウノトリ (横浜市港北区)
『常憲院殿御実紀』によると、“生類憐みの令”の取り締まりが厳しかった元禄元年(1688年)、武州新羽村(現在の横浜市港北区)にある西方寺は、寺の山林の樹木伐採中に、コウノトリが巣をかけていた木を切り倒したため閉門に処せられた、という記録がある。(出典:「御鷹場」本間清利著・埼玉新聞社刊)

6 木下川薬師 (東京都墨田区)*
江戸時代に発行された「江戸名所花暦(1827年)」に掲載されている「木下川薬師」の絵図には、本堂の傍に生育する松の大木の梢に1羽のコウノトリが羽を休める姿が描かれている。*木下川薬師(現・青龍山浄光寺:葛飾区)は今より西北約600mにあったが、荒川放水路の開削で現地へ移設した。

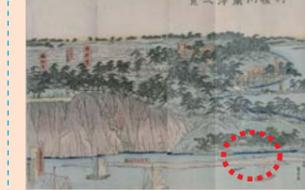
7 鴻巣橋 (東京都目黒区)
かつて橋のたもとにあった稲荷神社の松の巨木に毎年コウノトリが飛来して巣を作ったため「鴻之巣松」と呼ばれ、橋の名もこれに由来するという。(出典:目黒区ホームページ)

8 六義園 (東京都文京区)
六義園を造った柳沢吉保の日記には「今年もまたツルが飛んできて、木の上に巣をかけて卵を産んだ」との記録があるが、ツルは木の上に巣をつくらないためコウノトリの間違いだらうと言われている。

9 五百羅漢寺 (東京都江東区)
「江戸名所図会(1834年~1836年)」の『五百羅漢寺』を描いた図絵には、本殿の屋根とその上空、計2羽のコウノトリが描かれている。

左図、左手から飛んてくる1羽(上左)と、屋根にとまる1羽
松森胤保が記した『遊覧記』には、「浅草辺りはコウノトリ多し、浅草寺本堂の屋根にコウノトリ巣を作置」「五百羅漢寺の庇にコウノトリ巣を作置」「亀井戸(亀戸天神)のささい堂に至、コウノトリありて其辺に遊居、其ささい堂の屋上に巢くい置」等の記述がある。(出典:「野田の自然誌」新保國弘他著)

12 利根川東岸一覽 船橋市西図書館所蔵
江戸時代の絵師・玉蘭齋貞秀(1807~1873)が描いた『利根川東岸一覽』には、現在の市川市国府台に面した利根川(現在の江戸川)の中州に2羽のコウノトリが描かれている。当地は、かつて「鴻之台」とよばれていた。(図左下) 河川砂州上のコウノトリ



19 元総社北川遺跡 (群馬県前橋市)
古墳時代(6世紀初頭)の水田の遺跡から、人の足跡とともにコウノトリの足跡が発見されている。(出典:「牛池川周辺の自然環境と暮らし」群馬県前橋土木事務所、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団)



17 常陸国水戸領
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 鴻の地名 (千葉県野田市)
野田市には「鴻ノ巣」という地名が2ヶ所あり、地名となっている付近の住民に「かつてここにはコウノトリがいて、羽が抜けて向の内へ飛び去ったのでこういう地名となった」という話や、「昔コウノトリがいたので鴻ノ巣」という地名となった田んぼがあった」という話が言い伝えられている。(出典:「野田市生物多様性戦略」H27.3)

15 和田沼のコウノトリ (千葉県柏市・我孫子市)
和田沼にはかつて共同狩猟地があり、明治で禁猟がとけると鶴などの狩猟が行われていた。鶴は明治16年頃までは上空に飛来したが沼に降りる事はなかったが、コウノトリは明治35年(1902年)頃までは渡来していたとの記述がある。(出典:「野田の自然誌」新保國弘他著)

15 手賀沼 (千葉県我孫子市)
●明治16年(1883年)、1月に目撃された記録がある。(「橋川次郎 県動物誌基礎調査1962」)
●明治17年(1884年)、2/9に雌雄が捕獲され、山階鳥類研究所に標本として保管されている。

14 大草谷津 (千葉県千葉市若葉区)
明治27年(1894年)頃、大草町の谷津で、コウノトリが毎年繁殖していたという口碑がある。(出典:「ちば・谷津田フォーラム会誌13」中村俊彦著)

13 田植え唄 (千葉県いすみ市)
●「千葉県夷隅郡誌(夷隅郡役所1923年)」に掲載されている田植え唄には、「…松に巣たてる鶴の子の…」の一節がある。鶴は松にとまれないので、松に巣をつくるコウノトリのことを唄ったと推測される。
●地元住民が「鴻の宮」と呼ぶ八幡神社がある。いすみ川のかつての氾濫原にあたり、一面水田が広がる中、いすみ川の自然堤防の縁に位置する微高地に建っている。

12 武家屋敷跡からコウノトリ?! (東京都港区)
「汐留遺跡」や「愛宕下遺跡」など江戸の武家屋敷跡からコウノトリの骨が出土している。出土は多くはなく、人々が食用や他の用途で積極的に利用した鳥ではないと考えられている。(出典:東京都港区立土質資料館「資料館だより」第72号(2013.9.30))

9 隅田川風物図屏風 (右隻) 東京都 江戸東京博物館所蔵
文政9年(1826年)に鳥文齋栄之によって描かれた屏風図。永代橋(東京都江東区・中央区)近く、寺と思われる建物の屋根の上にとまるコウノトリが描かれている。

11 徳願寺 (千葉県市川市行徳)
江戸時代に発行された江戸名所図会(1834年~1836年)に掲載されている『徳願寺』を描いた絵図には、徳願寺本堂の屋根にとまり羽を休めるコウノトリ、本堂の右上を飛びコウノトリの姿が描かれている。

10 葛西 (東京都江戸川区)
「徳川実記(有徳院殿御実紀)」(1809-1849 成島司直ら)には、以下のような記録がある。
●1735年、將軍徳川吉宗が松に止まり嘴を鳴らすコウノトリの姿を観察した。
●1729/2/24に2羽、同12/30に1羽を捕獲した。

11 国府神社 (千葉県市川市)
大鳥神社とも称される神社。ご神体はコウノトリのくちばし(実存)。日本武尊が東征からの帰途、市川側の台地から武蔵国川へ利根川(現在の江戸川)を渡る場所が分からずにいると、どこからともなく飛来したコウノトリが浅瀬を教えてくれ無事渡れたことから、この地を「鴻の台」と名付け、神社は日本武尊を御祭神として祀られている。という由緒がある。



19 思川
江戸時代中期、伊賀上野城代を務めた伊勢津藩士が、思川周辺について「此邊鳥多し、鶴・鶴(かうづる=コウノトリ)・白鳥・鴻(ひしくい)・雁…」と記している。(出典:「藤堂元甫著作集-思川記・他」上野市古文堂刊行会)

17 久慈川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 那珂川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 霞ヶ浦
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 利根川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 多摩川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 鬼怒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 久慈川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 那珂川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 霞ヶ浦
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 利根川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 多摩川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

16 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

15 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

14 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

13 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

12 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

11 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

10 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

9 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

8 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

7 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

6 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

19 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)

17 荒川
「常陸国、御領内産物留」に「この鳥」、「とき」の名前も記されている。(出典:「過去における鳥獣分布情報調査報告書(環境庁委託)」(財)日本野生動物研究センター、1987年3月)